

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和3年10月8日
タイトル	黄金の稲を刈取しました。
水土里レポーター名	長崎県山田原第2土地改良区 力野和久

心地よい秋風が吹きぬける秋天の今日、雲仙市立大塚小学校5年生26名が山田原工区で稲刈りに挑戦しました。6月23日田植えをして105日大雨や強風、害虫に負けることなく小学生のようにすくすくと成長してくれました。農家の人に聞くと今年は、災害もなく順調に生育し豊作を迎えたとのこと。うれしいですね。

子ども達が刈り取った稲はその場でコンバインにかけ糶にします。農道横に横付けされたトラックに積み込まれ直ぐにコンテナでカントリーに運ばれていきます。

今は広い水田になりましたので、大型コンバインで刈取をしています。1日に1haほどは楽に収穫することが出来るそうです。

今日刈取をした稲は乾燥を行い白米にして、1年生から6年生の皆さんと一緒におにぎりやカレーライスにして食べる予定でしたが、コロナ禍のため家庭に持ち帰りお父さん・お母さんや兄弟（姉妹）と一緒に試食するそうです。早くコロナが収束し普段の学校生活に戻るといいですね。

【連絡先：0957-38-6266】



【上手に刈取をしています。】



【稲刈り楽しいよ！】